

報かがわ

発行者

香川自治会広報委員会

印刷所 楠工カネ印刷



茅ヶ崎海岸から望む日の出 撮影 北畑光久氏

新たな年を 迎えて

自治会長 熊沢 藤俊

新年明けましておめでとうございます。本年は特に西暦二〇〇〇年を迎え、歴史的にも大きな意味を持つ年であり、全世界をあげ良き年でありますよう祈念いたしたいと思ひます。

さて、昨年は自治会活動に関して地域住民の多大な協力と、自治会役員の献身的な努力により、活動が順調に進められましたことに、深く感謝とお礼を申し上げます。

特に昨年、初めて行われた香川ふれあいまつりには、香川各種団体の積極的な協力を得て、多くの成果を修めましたことを心より

有難く思っております。また、十一月二十八日には、湘北地区自治会連合として、はじめての総合防災訓練を香川小学校校庭で実施いたしました。避難所立上げ訓練や消火訓練、救急訓練や炊飯、豚汁のたき出しなど多彩な訓練でした。

この訓練には、地域住民の多くの参加をお願いしなければならなかったのですが、計画の遅れや、湘北地区六自治会の初めての総合訓練ということで参加人員がつかめず、香川では自治会、町内会役員のみ参加となりました。これらにつきましても、深くお詫び申し上げますと共に、今後の計画を充分考へていきたいと思ひます。

昨年一昨年より、自治会としては新たな発想のもとに行事などを模索しており、各町内会も独自の企画で積極的な活動を続けており、本心に喜ばしい事と思ひます。

しかし、香川の人口が増大する中で、住民ひとりひとりが、自治の何であるかを認識し、行動に移しているかについては、聊か疑問があるように思ひます。地域の整備や町づくりは、市や自治会に頼るのみではなく、自分達自身で創り上げるといふ意識が大切ではないだろうかと思ひます。

大地震に備え、隣近所のふれあいを深める。周りのゴミや環境は自分たちの手で出来るだけ整備する。このように身近な出来ることから、所謂自治の精神につながるも

のではないかと思ひます。今後香川地域では平成十二年をめぐりに、住居表示変更の問題があります。またこれに伴い、マンモス化した自治会の分離分割も考えなければならぬと思ひます。いづれにしても、地域住民のよりよい発想と合意が必要であり、是非共にご協力をお願い申し上げます。

二千年紀を 迎えて

第一町内会長 田中 徹

新年おめでとうございます。皆様元旦には、どんな今年の計をお立てでしょうか。

今年、二〇〇〇年、二千年紀の最初の年でもあり、又二十世紀最後の年、良い言葉ではないけれど世紀末です。二十世紀を振り返って見ますと、一九〇四年の露露戦争に始まり、一四年第一次世界大戦、三一年満州事変、三七年日華事変、四一年第二次世界大戦勃発、四五年第二次世界大戦終結と、これらは我が国が直接関係した戦争ですが、その後も朝鮮戦争、ベトナム戦争、湾岸戦争、又種々の国内で内戦が頻発して住民は悲惨な状態が続いております。こう見て来ますと、二十世紀は、戦争に始まり、戦争に終始した世紀と言えるのではないのでしょうか。

昨年は、一九〇〇年代の最後の年であり、年始からノストラダムスの予言が話題を賑わせて来ましたが、予言は当らなかつた様で、当たり前ですが、それにしても色々と事件や災害が新聞紙面をうめており、どの記事にしても、気が滅入る様な記事でした。

特に最後には、あつてはならない臨界事故で多数の被災者を出し

遂に大内さんの死という様な結果となつてしまいました。

昨年は、どう考えても良い年であつたとは言えない様です。

しかし新聞紙面を良く読みますと、若い人達が色々なボランティアで活躍し、或は日常の一寸した行動の記事、又投稿欄等には心の暖まる様な記事もチラホラと見受けられ意を強く致しました。

二〇〇〇年代にはこうした行動考え方がどんどん増え、大きくなり世界中に広がり、世界各国で絶対に戦争を起さない、平和で豊かな生活が出来る様になりたいものです。二千年紀の今年が出发点になればと思ひますがどうでしょうか。

丁度今年のNHK大河ドラマは葵徳川三代記を取上げています。徳川時代色々問題点もありますが、約二六〇年国内又国外に対して戦争をしなかつた事は、古今東西を問わず、徳川時代しか無かつた事で、その基礎を作つた三代はやはり特筆すべき事なのでしょう。

香川自治会は、今年役員改選の年です。身近な我々の住んで居るこの地域が平和で親しめる住環境にするべく、地域の役員となつて活動されまます様お願い致します。

第二町内会長 長田 昇

国旗の日の丸 について

新年あけましておめでとうございます。私が小学生の頃、元旦には家々で国旗の丸を掲げ、全校生徒が登校して、御真影に礼拝し、国歌が代を歌い、教育勅語を聞くのが通例でありました。

祝祭日には、どこかでも国旗の丸を掲げ祝日の雰囲気を感じ上げていました。

敗戦により日の丸の掲揚が出来

活動へのご協力をお願いします。

新年を迎えて

第三町内会長 熊沢 勝司

新年明けましておめでとうございます。会員の皆様には穏やかな新春を迎えられたことと拝察。お喜び申し上げます。

昨年は会員の皆様を始め、各種団体の役員の方々には一方ならぬ御協力を頂き、第三町内会の諸行事が支障なく行なわれたことに對し、心よりお礼申し上げます。

特に町内美化キャンペーンについては、回を重ねる毎に参加される方が増え、当初の目的を達成するとともに参加者相互の親睦を深める場にもなり、町内の移り変わり等を多数の方に見て頂くよいチャンスであり今後も継続して行きたいと思ひます。

第三町内会の会員世帯数も六百九十世帯と増え続け環境問題、その他色々課題がありますが、その地域の組長さんを中心として、意見交換等を交えながら取り組んでいきたいと思ひます。

今後共、皆様方に御協力をお願い致します。年頭の挨拶と致します。

自然と共生

第四町内会長 中村 五初男

二〇〇〇年・昇運の辰年を寿ぎ皆様の更なる飛躍とご健勝をお祈り申し上げます。

元旦に諏訪神社で参拝し寒川神社への初詣歩行が私の恒例であり心あらたまる一瞬です。

晩秋に街道をゆく「種子島みちと世界遺産屋久島を訪ねて」の旅に参加。憧れの屋久島は、珍しく晴天に恵まれ、屋久島環境文化セン

ター(自然・動植物・気象・文化等)を見学後、すばらしい千尋の滝から、ヤクスギランドへ。深い原生林の散策路の中にサツキ吊橋・展望台・休憩施設(自然に優しい太陽光発電)があり、藩政時代の切株・土埋木・試し切り跡・二代大杉等を見ながら森林浴を楽しんだ。紀元杉・樹齢三〇〇〇年は、最大、最長寿で思わず圧倒され、私を太古の世界に誘った。海岸線から山頂まで異なった景観・植生帯の美しい自然を満喫した。

世界自然遺産フォーラムが、十月に当地で開催。アジア・太平洋の担当者の感想としては、特異な森林生態系と類例を見ない自然の美しさにいたく感動したと。これからは、特に入山規制や人の分散化等による数の制限が必要であると提言が出された。

日本文化の根底にある「共生と循環」の原点としての屋久島。人々の文化や暮らしを尊重するカント(リーコード(島での心構えやルール)や森林保全に対する人々の取り組みで、入林者のマナーが良くゴミも少なく、きれいな水・空気・食物が、当り前にある生活こそ豊かな生活であると思う。歩くほどに見るほどに、大自然の豊かさ大さを体験し、自分再発見の旅だった。

地域に目を転ずると、町内北部も区画整理事業で、区画道路等も整備されつつあり、変貌している。

地域の活性化のために、自然と調和した緑豊かな快適な街づくりを期待しています。また、役員改選の年ですが、香川には、有能な人材も豊富です。新進気鋭の皆様方、ぜひ自治会に参画して頂き町内会活動をお願いする次第です。

年の始めに

総務委員長 吉田弘司

明けましてお目出度うがさいます。今年もよろしくお願ひします。平成十二年、世にいう二〇〇〇年の新春は、皆様にとつてどのような夜明けだったでしょうか。新聞や雑誌を見開きますと、著名な人の抱負や所感がいろいろと載っています。前年は不況、リストラ等の世相を反映して、暗い深刻な事件が次々と発生しましたので、尚更明るい世情への復帰に期待を求めたい今年です。

昨年の暮れも押し迫ったある会合で、香川地区で子供達への変質行為が増えてきているので、どのように対処するかとの問題提起がありました。丁度、京都では不幸な事故が起きました。何はともあれ、不祥事が起きてからでは手遅れで、未然に防止を図る手立てを講じることが大切です。事態の拡大しないうちに根絶を期したいものです。自治会活動の基本目標の一つには「明るい住み良い町づくりを目指して生活基盤の充実、文化の向上及び環境の整備を図る」とあります。役員は常時この目標達成に鋭意努力をしているところですが、残念なことに、未だ放置自転車や粗大ゴミの不法投棄があったり、相変わらず犬の糞が路傍に散乱されたり、の状態を完全に排除出来ません。恐らく極く限られた不心得者による行為とは思われますが、これらが完全に姿を消さなければ住み良い町にはつながりません。私共も一層の努力をしてこれらの根絶に努めますが、会員の皆さん方にも多くの力添えを頂かなければ目的達成にはいかないと考えます。

是非、私共と一緒に明るく楽しい香川にすることをお手をお貸し下さるようお願いいたします。

第一町内会ニュース

歳末町内パトロール

去る十二月十二日、恒例のパトロールを町内役員協力の協力によって実施した。

三班に分れ、それぞれの分担区域の確認と、今日の主な「チェックポイント」を確認して、

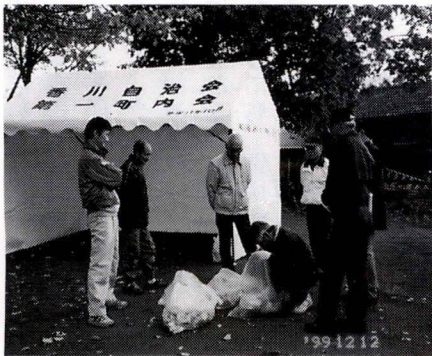
- 一、カーブミラーの点検
- 一、街灯の点検
- 一、街路樹・庭木の不具合
- 一、その他(安全衛生)

各自ゴミ袋を持って、区域内のゴミ、ビン、カンの収集もしながら、空地や、資材置場に隣接している道路には、ゴミやビン、カンの散乱が目立ったが、各位の家庭周辺道路は大変きれいに清掃ができていた。

パトロールで集められた指敵事項は、役員によって内容の確認を終え、整理をして、市の担当部署や企業責任と思われる事項は文書で会社窓口へ、庭木の不具合等については町内会長から当該家庭へ善処方をお願いすることにした。

このパトロール終了後、これも恒例の防災倉庫内の器具・備品の点検と、あわせて、十一年度末に自治会で購入した、新しいテントの点検と、設置実習をした。

このテントには新しい工夫があつて、テントの四本柱がそれぞれ



新しいテント

れ任意の長さで調整出来るので、必ずしも平らな地面でなくても安定して設置出来るとか、四本柱の接地面に孔があつて、ピンで固定出来るとか、三方にスカート式の幕があつて風雨が凌げるとか。でも、利用することがない様祈りながら。

第二町内会ニュース

最近我が第二町内会も、住宅の建築ラッシュで若い住民が増えて参りました。当然赤ちゃんの泣き声、子供の騒ぐ声が聞こえてきまして老化してきている町に生命の息吹が感じられ、結構な事と喜びを覚えます。子供達の遊ぶ場所も少ない私達の町内では、車通りの少ない裏通りで子供が遊ぶのはある程度止むを得ないことです。大きなマンションが出来、たくさん若い夫婦が入居すると、当然子供の人数が増えて来ます。小生が偶然付近を通りました時、親がついて2、3人の小さな子供を楽しく遊ばしておりましたが、突然、突然道路向かいの住宅から「うるさい、静かにしろ」と、親と子供に向い怒鳴る声が致しました。私が聞いて感じる範囲では、表通りを間断なく通行する車の音の方が煩く感じるのですが人間として、生命の息吹を感じる子供の声を煩く感じるのとは大変寂しいことと考えられます。どうぞ第二町内が小さい生命の楽しく成長できる場所となるよう、会員の皆様に、優しい心配りをお願いいたします。

十二月十一日町内会として始めて防犯パトロールを行いました。鶴が台交番からお巡りさん三名加わって頂き、参加役員を二班にわけ、無灯火自転車に対しての指導を中心に、組長さんに監理をお願い

第三町内会ニュース

新たな年に向けて

西暦二千年!! 二十世紀最後の年を迎え、町内会の皆様方もご健勝で新年をお迎えしたことに存じ、更めて新年のご挨拶を申し上げます。

◎十二月十九日第三回美化キャンペーンには、町内役員ほかに、組長さんや会員の方達三十四名の参加を得て実施されました。

道路脇、草むら、線路際、自販機近辺でのビン・カン等の投げ捨てが相変わらず目立ちます。また、駅周辺ではタバコの吸い殻が目立ちました。車内禁煙の影響でしようか?

◎十二月十九日町内役員会を開催。新年一月以降の日程等について審議しました。平成十二年は、自治会・町内会関係の役員の一斉改選が行なわれま

す。その第一段として、一月二十三日(日)平成十二年の新組長会が開催され、一般的な「組長さんの仕事」のほか「評議員」の選出をお願いすることになります。

その後、新評議員によって、町内役員を選出等、一連の役員改選の手続きを経て、四月一日より新役員による活動が始動することになります。

第四町内会ニュース

市役所より回答

道路排水整備についての要望書(9月28日付け広報かがわ参照)に対する回答が市役所より送られてきました。つきに要旨を抜粋してお知らせします。

これを解決するには、雨水計画に基づき整備を行なう必要があり、現在の道路幅員では計画の函渠を布設するスペースがありませんが、この道路については道路拡幅の計画があり、その道路工事に合わせ函渠を布設する予定であります。

それまでの間は、雨水枡の改良及び浚渫を行ない、少しでも流水断面を確保するように努力します。右の通り下水道管理課では窮状を理解してくれたものの根本的な解決は当分望めそうにありません。しかも緊急時にはこれまでの状態が続くと考えると暗い気持ちになります。

◇湘北地区自主防災訓練実施
11月28日(日)に湘北地区自主防災訓練が行われました。昨年まで自治会独自で主催してきましたが市の予算縮小のあたりを受け今年から地区連合で実施されます。

第四町では町内会役員及び関係諸団体役員27名が参加し訓練に励んできました。

◇町内防災研修会
11月30日(火)県の防災センター研修(第四町としては二回目)をおこないました。市のマイクロバス

で20名が有意義な一日を過ごしました。第4面に榎本副会長の手記が載せてあります。

◇ともしびパトロール

昨年最後の鶴が台番との合同パトロールが暮れも押しつまった21日(火)に行われました。

金子巡査部長さんの最近の地区の犯罪防止策について資料をもとにしたお話し(主に引つたり)の後、二班に分れて行動しました。今回は「避難経路」の確認が目玉で、一は北陽中、二班は鶴が台中に向かい夜間の避難について道路の状態を主に点検しました。

◇町内役員会

12月の町内役員会は12月26日午後7時から開かれました。

議題①役員改選についてはいろいろと貴重な意見が出されました。これらの意見を新組長会に反映させると言うことで皆様が了承されました。

議題②最近の諸問題については昨年12月5日に開催された第一回住居表示検討委員会で審議された内容やその他の報告がありました。その他の報告で注目することは青少年広場の第三・第四町内会の防災倉庫に子供が乗って遊んでいることです。危険ですし倉庫の屋根も傷むと思います。見かけたら注意しましょう。

住居表示

検討委員会の発足

総務委員長 吉田弘司

今般、茅ヶ崎市は、香川をはじめ甘沼、赤羽根、西久保といった北部地域について、新たな住居表示作業を進めます。

すでに皆様方へは計画の内容をご理解いただくために、説明会を二度に亘って行ってきました。

茅ヶ崎市の基本姿勢は

一、町の大きさを整え境界線をわかりやすいもので区切り、同時に町の名前も整理して、町全体をすっきりしたものにする。

二、土地の番号である番地の使用に替えて、建物に対して一定の基準で新しい番号をつける。

これを押し進めると、鉄道線路、幹線道路や河川などで境界の線引きが行われますので、その結果従来と部分的に境界が変わるところが生じますし、加えて町名が変わる可能性があります。

茅ヶ崎市の担当部局は、地域の



住居表示検討委員会

皆さんと十分意見の交換を図って了解の上で作業を進めたいと思っています。

この様なことから、自治会は皆様の要望を市へ取次ぐパイプ役として住居表示問題についての委員会を設け検討に加わって下さる委員を募りました。

今回、多少の紆余曲折はありましたが、市案に示されているそれぞれの地域から、各二名、合計十六名の委員が決り、これに自治会長、各町内会長と総務委員会のメンバーが加わって、去る十二月五日に第一回の検討委員会を開くに至りました。

検討事項の内容は、市案に対する確認が主で、東海岸寒川線と線引きされた時に生じる香川と甘沼の出入箇所や甘沼の飛び地の対処、さらに区画整理中(先の市案地図の斜線部分)の区域についてもAとGと同じ地域として進めようとする。

の基本方針が固まりました。

皆様方が、最も関心を抱いておられると思われ、町名問題につきましては、十分に時間をかけて種々の見地から慎重に検討を進めようということになりまして、次回以降に協議をすることになりました。

委員会は、これから状況に応じて開催されようが、皆さんのご意向を吸収し反映させて作業を進めることが大切と思っています。取り敢えずこれまでの経過状況を報告いたします。

防災訓練実施される

十一月二十八日(日)香川小学校に於いて、湘北地区自治会連合会の防災訓練が行われました。

従来は、各自治会単位で防災訓練が行なわれて来ましたが、茅ヶ崎市からの要請で、今回より地区自治会連合会単位(香川自治会は湘北地区自治会連合会に属する)で防災訓練が行われることになりました。

湘北地区自治会連合会での防災訓練は、今回が初めてと言うこともあり、又、茅ヶ崎市より参加人員の要望(連合会全体で30名であったため香川自治会としての参加人員は10名)があったために、今回の防災訓練は、自治会役員及び各町内会役員が参加して行われた。

訓練の内容は

- 一、消火訓練
- ・水消火器による消火
- ・バケツリレー
- ・窒息消火(天ぷら油消火)
- 二、救助訓練
- ・ロープの結び方
- ・応急処置(三角巾の使い方)
- 三、蘇生訓練
- ・人工呼吸・その他

四、起震車による震度体験

五、応急給食



バケツリレー

・トン汁

・応急炊飯袋を使つてのご飯づくり

各自治会の参加人員は 香川(10名)甘沼(40名)松風台(50名)鶴が台団地(60名)鶴が台(1)(30名)ライトタウン(10名) 初めての連合会合同の防災訓練であったが、参加者全員が、本番を想定して、真剣に実施しており、非常に良好な訓練であった。

平成十二年度

新春賀詞交歓会行なわれる

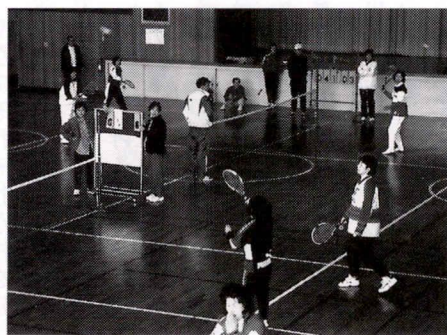
平成十二年一月九日(日)香川自治会館にて午前十時〜十二時まで新春賀詞交歓会が開催された。各種団体の代表者と自治会役員の見を交えてなごやかに行われた。警察担当の方も御多忙の中地域の方々の協力を得て老人、子供達を守ってほしいとの要望がありました。又昨年四月新しく赴任されました北陽中学校校長石本勲先生、香川小学校校長加々宮進先生方の初参加に地域の人達とのふれあいを大切にしたいという意見をのべられました。又二千年に入りまして新たな気持ちでお互いに協力し合い仲良くしてゆきたいものです。その他沢山の意見もございました。

が香川の住民の方々も混じえて町を盛り上げてほしいと願っています。

ショートテニス大会

十二月五日に第一回のショートテニス大会が香川小体育館で行なわれました。各地区を代表する選手が早々に集まり、練習を始める。外の木枯らしをふきとばす程の熱気にあふれました。

開会式・ルール説明が終わるのを待ちかねた様に、それぞれのチームが3コートに分かれて試合が始まり、総当たりで熱戦がくりひろげられました。



ショートテニス

甘沼が接戦を制し、以下第一・第三・第四・第二の各町内会・松風台の順に続きました。

初めての試みでしたが、参加者は「思ったよりもハードだったけれど、楽しかった。またやりたい。」「来年(次回)は絶対勝ちたい。」等の感想を寄せてくれました。

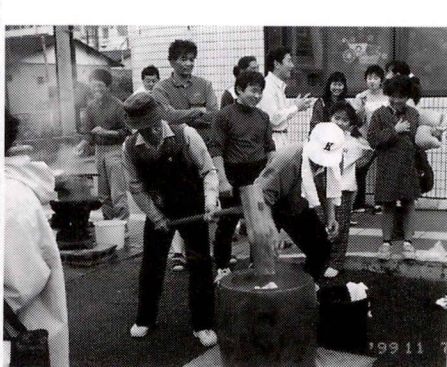
これからも多くの人が参加して回を重ねられるといいですね。役員の方々、選手の皆さま、お疲れ様でした。(堀之内)

第11回 香川公民館まつり

「出会いでつこう未来と希望を」のテーマで、昨年11月5・6・7の三日間香川公民館まつりが開

催されました。主催は、茅ヶ崎市立香川公民館・香川公民館まつり実行委員会、第11回を迎えました。発表・展示・バザー・交流会とそれぞれのコーナーで、企画参加された皆様の努力の結晶が表現されました。

今時なかなか家庭では出来ない餅搗が子供達に見せられた事は、本当にいい事だと思えます。三日間とも天気恵まれ、盛況のうち幕をとじました。又来年を期待致します。(森口)



もちつき風景

ボリング大会の御案内

- 一、日時 平成12年2月20日(日) 午前9時開始
- 二、場所 寒川センターラルボウル 電話0467(75)5311
- 三、集合場所 午前8時15分 香川駅前集合(マイク口バス)直接センターラルボウルでも可
- 四、参加費 一人五〇〇円 (靴代二〇〇円自己負担)
- 五、応募人数 90名
- 六、参加資格 寒川自治会員及びその家族
- 七、参加方法 香川自治会館に掲示してある用紙に直接記入。90名になり次第締切。
- 八、ゲーム方法 2ゲーム総合点数で競う。

元旦祭行われる

十二月三十日(木)午前九時から諏訪神社では、神社役員により大祓が行われました。

大注連縄作りでは、藁縄13本を縫って一本の太い縄を作り、その太い縄3本をもう一度縫って大注連縄を作り、古い注連縄と取り換えて新年を迎えます。

十二月三十一日(金)午後十時から神社役員により大釜での甘酒作

県防災センター 体験研修に参加して

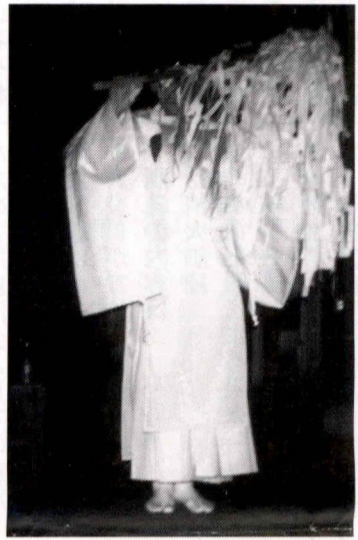
榎本 正明

防災行事の一環として去る十一月三十日(火)県防災センター体験研修並びに宮が瀬ダムの見学を実施した。快晴の秋空の下、車は一路県防災センターへ向かう。すでに稼働を始めた企業車両があわただしく行き交う朝の時間帯でもある。途中たいした渋滞にはまり込むこともなく、定刻どおり防災センターに到着。かわいいミニスカートのお嬢さんの出迎えを受け、ウキウキと場内に案内されたことである。おおまかな設備の説明後さっそく模擬体験に入る。最初が地震体験で、かなりの精度を持つ地震装置は、神奈川県西部に起こり得ると思われる地震のオリジナル震度の体験は説得力があった。次の風水害の体験は諸般の事情により風圧体験だけとなる。最大風圧30kmは確かにきつい。これに雨が伴うと、とてもではないが歩行は困難を極めると判断したことである。さらに避難の体験である。あらかじめ脱出経路が提示してあるにもかかわらず、実際に煙の中に入ると前左右にあるドアをい

りや、暖をとるための焚き火等参詣者を迎える準備がされました。今世紀最後の年を迎えると同時に、大勢の参詣者が諏訪神社に集まり、初詣して熊沢晶神官のお祓いを受けておりました。

一月一日(土)午前十時から例年通り元旦祭が行われました。

国家、氏子の繁栄や平和を祈願する行事です。式は熊沢晶神官の祝



(熊沢晶神官によるお祓い)

詞奏上に始まり、自治会長参列者の玉串奉奠など滞りなく進められました。

ちいち開けて「こつちじゃねえ、あつちだ」などと結構モツツキ気味での脱出であった。姿勢を低くして歩行などの指示はまったく忘れ、ひたすら出口への模索であったようだ。最後に消防署への正確な通報の仕方など実質的な体験は終わってしまったのだが、所感としては果たして現実に災害が起きた時、今回の体験がどれだけ役立つかは判断しがたい。しめくくりは、スクリーンによる災害現状のすさま

じさを、多種の角度から検証し課題を投げ掛けたのストーリーりで終わっている。こうして約一時間を費やしての体験は無事終わった。



宮が瀬ダムにて

センターを後に進路は宮が瀬ダムへ、車窓越しに丹沢山系の山々を遠くに見ながらのドライブコースは色彩変化に富み、眺め見る者の心を和ませてくれる。一時間弱でダムサイドの駐車場に到着、湖面に映し出され周囲の山々の色彩

が一枚の絵葉書を作っていた。思わず「絶景かな」と叫んだことである。真つ青に澄み切った空と湖、その中間を錦絵巻き彩りを添えている。これを絶景と言わずに何と

あった。ともあれダムのすべてを満喫しての見学会は満足の一語であったと言っても過言ではない。参加された皆さんには本場に有り難うございました。紙面を借りてここに改めてお礼申し上げます。

春を待つ...冬芽



香川駅にある数本の桜の木は春は満開の花で利用する私たちの目を楽しませてくれる。夏になると葉は暑い日差しを遮りいくらかの涼しさを与えてくれる。冬の間は葉を落とし丸裸の梢を見せているが良く見ると沢山の小枝の先には暖かな春を待つ花芽(つぼみ)を無数につけているのが見られる。なかにはふくらみとして大きいものもある。春になるとまた、満開となり楽しませてくれる。私たちの庭や、道路沿いの葉を落とした木は

枯れ木の様に見えても必ず小さな葉の芽や花の芽を付けている。冬につけている芽を総称で冬芽と呼ぶ。

我が家の庭木の冬芽ウオッチングをしてみた。モミジは先端に二つの筆先の形をしたとても小さな芽、ムクゲは坊主頭にうすい毛を生やした様な芽、ウメは一直線に延びた小枝にまん丸の芽をいくつもつけ、ビヨウヤナギは先端に長めの筆先の形をした芽を三つ、アズキはゴツゴツした小枝に暗褐色で筆先をぶんぐりと短かくした形の芽、カキは淡黄褐色の卵形で先をちよつと尖らせた形の芽をつけていた。

やがてそれぞれが枝を伸ばし、葉になり、花を咲かせ、果実を実らせる。

冬芽をつけるばかりではなく、クヌギ等のドンダリの仲間の木のように冬の間、既にかわいい、小さな小さな実を小枝にへばりつく様につけて冬を越すものもある。冬芽ウオッチングいかがでしょう。

藤村 球子

盛りの塩のすこしくづれて十二月 清められた店先の盛り塩は人を迎えるのにふさわしい。それが少し崩れていていかにも十二月だ。

冬ぬくし五指をひろげて語りをする 湯川 章一

暮も正月も休まず出漁している漁夫達の生活に思いを馳せいる作者、漁火を見ながら静かに正月を迎えている。

初時雨薄目して猿ちごこまる 田辺美津枝

千年を区切りてひびく除夜の鐘 今年だけ通用する句だが、改めて二〇〇〇年を迎える気分は

様子が見える。 山本 洋

年々束縛くなりぬ年賀状 年を経て願ひすくなし初詣 柚子の黄を自当てに家を訪ねけり 石段を掃き清めたる恵方かな 木枯らしや年寄り探す声ちぎれ

蟹の脚たたく俎板始かな うたせ湯や一日怠けし年の暮

トンネルを抜けて塩の香初茜 買初や土鈴の金をまぶしめり

◆選者吟 振舞ひのしとやかなりし切山椒 連絡先長島久江 ☎57-6525

遠くへ移り住んだ友人から例年の通り芋版の賀状がきた。遠くへ移っても変わらぬ友情を嬉しく思い、ひとしきりこの友人のことに思いをめぐらしている

俳句 平塚司郎選

茅花会

後藤 幸香

山本 洋

青山 淳子

碓 百合子

長島 久江

長島 久江

長島 久江

長島 久江

長島 久江

長島 久江

長島 久江

長島 久江

長島 久江

長島 久江

行事予定

茅ヶ崎市立香川小学校主催 「第三回ふれあい文化祭」

日時 平成十二年二月五日(土) 午前九時~十一時

会場 香川小学校 体育館 音楽室

学習発表室 余裕教室

今回は香川自治会の文化厚生委員会の協力も得て各サークルの方々と地域の個人の皆様も参加して実演コーナーも設置してあります。是非、皆様のご参加をお待ちしております。

訃報

平成12年1月9日現在

堤 広司様 64才 11月12日

第二町内会 44-2組

岩片 洋様 74才 11月24日

第四町内会 32組

高橋 慧子様 57才 12月9日

第二町内会 40組

友野 一雄様 84才 12月18日

第一町内会 14組

新倉 フサ様 94才 12月21日

第四町内会 42-1組

武内 加代様 86才 12月24日

第二町内会 36-2組

斉藤 弘二様 87才 12月26日

第二町内会 49組

浜谷 昭子様 67才 12月30日

第三町内会 20組

小池 喜四郎様 83才 12月30日

第四町内会 6-1組

本間 金三郎様 82才 平成11年1月11日

第四町内会 35-1組

加賀 見芳夫様 80才 1月2日

第三町内会 3組

寺門 良晃様 47才 1月3日

第四町内会 16-2組

心より御冥福を御祈り申し上げます。